

## 121221 冬至（アジサイのサンタ）

今日「12月21日」は「冬至」です。

一年でもっとも昼が短く、夜が長い時期のことですね。

朝、寒い中を頑張って布団から出ても、まだ外は真っ暗です...

7時頃になってようやく明るくなり始める、といった状況です。

そして、まだ午後3時過ぎだというのに、もう夕暮れのように橙色の光が西の空から斜めに差し込んできますね...

古代には「冬至」が一年の始まりだとされていたようですが、それは今日から日が伸びていくことになるからでしょう。

また、「陰陽説」では、この日（冬至）を太陽が回復しはじめる日だと考えて、「一陽来復」（いちようらいふく）と呼んで、お祝いをしたようです。

「黄色」を熱や光の象徴として、この色の「かぼちゃ」や「ゆず湯」で太陽の復活を祈るとともに、無病息災を願ったのです。

ところで、“今日から日が伸びていく”のですが、寒さの“底”はまだまだ先のことです。

「立春」（来年の2月4日）の頃までは、日一日と寒さが厳しくなっていくのでしょうか...

さて、凍えるような寒さの中、幹と枝だけになって耐えている木の枝先をよく見ると...

以前にも紹介しましたが、「冬芽」を見つけることができます。

「冬芽」とは、若葉や花になる部分を冬の間に、寒さから守るためのものです。

つまり、植物の多くは、冬になる前に、既に春の準備をしていたのですね...

ちなみに、「冬芽」が目覚めて葉が開くためには、暖かさよりも、むしろ5 以下の寒い日が一定の期間継続することが必要になると言われていますので、冬芽の中の「葉」の赤ちゃんは“まだまだ寒さも序の口だな”などと思っているのかも知れません。

今回紹介するのは、「アジサイ」（ガクアジサイ）の冬芽&葉痕です！

もうすぐ「クリスマス」ですので、「サンタクロース」を思わせるようなものを探して、撮影しました。

皆様の目にも、柔らかなサンタさんの顔が浮かんでくれますでしょうか？













